

令和4年度 青果物生産販売状況 【6月30日現在】

作物名	重量(kg、本)						販売金額(千円)						単価(円)		生育状況、販売状況	
	4年計画	4年6月計画	3年6月実績	4年実績	前年6月対比	6月末計画対比	4年計画	4年6月計画	3年6月実績	4年実績	前年6月対比	6月末計画対比	3年6月実績	4年6月実績		前年実績対比
山の芋	110,000	0	0	0	—	—	40,000	0	0	0	—	—	—	—	—	定植は4月下旬より始まったが、田植後の天候不順により最終は6月中旬となった。5月中下旬の高温乾燥・6月上旬の低温により萌芽の揃いは悪く、初期生育も緩慢に推移した。6月下旬から7月上旬の降雨の影響で、生育は5日程度遅れており葉色が若干薄いため、追肥や葉面散布を呼びかけている。
アスパラ	100,000	37,500	25,948	31,516	121%	84%	120,000	45,000	41,355	48,541	117%	108%	1,594	1,540	97%	ハウスが4/13、露地が5/1から出荷開始。ハウスは豪雪・低温の影響で例年より2週間遅れた。春採りは好天に恵まれ単価も高値で推移したため、出荷量・販売額ともに前年を上回った。現在は降雨の影響による病害虫被害が出始めたため、防除の徹底を呼びかけている。
枝豆	250,000	0	0	0	—	—	130,000	0	0	0	—	—	—	—	—	極早生品種で4/18頃に播種開始。5月中旬までは好天に恵まれたが、下旬から6月上旬にかけて低温による生育遅れが発生。また、干ばつの影響で全体的に1週間程度遅れており、出荷は7月下旬からなる見込み。
キュウリ	300,000	5,000	1,490	2,720	183%	54%	60,000	1,000	537	850	158%	85%	360	313	87%	ハウスは4月中旬、露地は5月20日頃の定植。6月が低温傾向で推移したため、生育不良がやや見られました。6月下旬～7月上旬は高温傾向であり、しおれや葉焼け症状が散見されます。7月10日から出荷量が増加しております。販売価格については堅調に推移しています。
ネギ	358,000	0	0	0	—	—	100,000	0	0	0	—	—	—	—	—	定植は例年通り開始され、天候も良く順調に推移しましたが、5月下旬以降の低温、多雨により、べと病が発生。生育遅れの圃場が散見されております。出荷開始は7月下旬～8月上旬の見込み。
大館とんぶり	40,420	3,900	4,326	7,472	173%	—	30,286	3,275	4,942	5,934	120%	181%	1,142	794	70%	4月下旬より播種作業が開始されたが、5月上旬の低温で苗の生育は緩慢に推移した。5月下旬から定植作業が開始されたが、苗の伸びが悪かったことと6月下旬の降雨により1週間くらい遅れているが、定植後の生育は順調に推移している。今後は除草対策等を徹底していく。
トマト	38,000	0	0	0	—	—	11,000	0	0	0	—	—	—	—	—	6/21から選果開始。5月は比較的温暖であったため、1段目の肥大は良好で、Lサイズ以上が中心となった。下旬からの曇天降雨により灰色カビ病が蔓延し、6月下旬からは夜間も高く徒長気味の生育となっている。
シシトウ	8,500	0	30	65	217%	—	7,650	0	40	77	193%	—	1,333	1,185	89%	ハウスは病害虫の被害も少なく、生育は順調に推移している。6月中旬から出荷開始。一方で露地栽培は6月中旬までの低温の影響で例年より生育が遅れており、7月中旬には出荷が増えてくる見込み。
カボチャ	28,000	0	0	0	—	—	4,200	0	0	0	—	—	—	—	—	5月下旬の天候により、若干生育遅れがみられるが、病害虫による被害は見受けられずおおむね順調。出荷開始は7月下旬の見込み。
小玉スイカ	28,000	0	0	0	—	—	8,000	0	0	0	—	—	—	—	—	交配前、6月中旬から軟弱徒長し、やや色が薄い。着果量はあるが、やや小玉傾向となっている。オオタバコガの発生が早く、被害も確認されている。
山菜	11,000	7,000	6,518	5,395	83%	77%	6,600	3,500	4,944	4,230	86%	121%	759	784	103%	3年産については5/2で出荷終了。シーズンを通して堅調に販売が続いた。4年産の生育はおおむね順調。
キャベツ	30,000	0	0	0	—	—	1,650	0	0	0	—	—	—	—	—	秋冬キャベツの定植は7月下旬～8月上旬、出荷は10月下旬からの予定。
スナップエンドウ	10,000	2,000	894	793	89%	40%	10,000	2,000	1,113	918	82%	46%	1,245	1,158	93%	5月の高温でアザミウマの発生が例年より早く、収量に影響した。また6月の出荷最盛期に30℃越えの高温と長雨が続き、灰色カビ病が発生。多くの圃場で開花も止まり、例年より1週間程度早く出荷終了となった。販売はハウス面積減で高単価期の6月上旬まで出荷がなく、単価に影響が出た。
オクラ	6,500	0	0	0	—	—	4,225	0	0	0	—	—	—	—	—	高温を好む作物であるため、5～6月の低温により生育が遅れており、苗の時点で生育が止まってしまうものも見受けられた。出荷開始は7月下旬～8月上旬になる見込み。
その他	—	—	—	—	—	—	13,235	2,100	938	1,356	145%	65%	—	—	—	薬物1,086千円、インゲン20千円、ミニトマト10千円
そさい計	1,318,420	55,400	39,206	47,961	122%	87%	546,846	56,875	53,869	61,906	115%	109%	—	—	—	
花卉	135,000	15,115	11,090	10,940	99%	72%	17,550	1,965	1,313	1,191	91%	61%	118	109	92%	<ダリア>球根確保に苦戦し、全体的に定植がずれ込み、根張りが弱い。また6月中旬以降の高温で花焼けしており、出荷量減。<デルフ>1番花は順調に終了。今後の天気次第で2番花以降の収量が左右される。<トルコ>高温により季咲きが前進傾向。抑制はロゼットが発生。<販売>堅調に推移している。
菌茸	1,860	70	103	321	312%	459%	1,860	70	92	412	448%	589%	893	1,283	144%	適切な水かけと風通しを良くし、高温多湿にならないよう管理を徹底する。
りんご	75,000	0	0	0	—	—	11,000	0	0	0	—	—	—	—	—	霜害などにより結実の少ない品種もあるが、全体的に開花量、結実量が多く摘果作業に追われている。今年度は「秋田紅あかり」の台湾輸出に向けた取り組みを進めている。
なし	147,000	0	0	0	—	—	30,000	0	0	0	—	—	—	—	—	特に大きな問題も無く、順調に生育している。
合計	1,677,280	70,585	50,399	59,222	118%	84%	607,256	58,910	55,274	63,509	115%	108%	—	—	—	

作物名	羽数・頭数						販売金額(千円)						生育状況、販売状況
	4年計画	4年6月計画	3年6月実績	4年実績	前年6月対比	6月末計画対比	4年計画	4年6月計画	3年6月実績	4年実績	前年6月対比	6月末計画対比	
比内地鶏	159,000	36,000	30,377	34,806	115%	97%	337,080	76,320	72,227	83,729	116%	110%	出荷率、品質ともに個人差が大きくなっているため、品質改善を目的とした巡回指導を強化していく。販売は回復基調となっているが先を読めない状況となっている。
和牛	55	20	12	11	92%	55%	33,000	12,000	7,696	7,290	95%	61%	4月～6月市場の平均単価は696千円と比較的高値で推移している。今後は血統の情報提供や雨池牧場の活用を呼びかける。
産直	—	—	—	—	—	—	247,800	41,500	40,277	36,943	92%	89%	春先からの天候不順により露地野菜、山菜等の出荷量減、販売額は前年比の92%であった。今後は、店舗内レイアウトの変更及び夏場の特売セール等のイベントを積極的に開催し、集客アップを図り、販売に努める。
水稲種子	—	—	—	—	—	—	10,000	—	—	—	—	—	契約数量で222.2tの確保に向け概ね順調に生育している。採種圃での病害虫の発生は無く、近隣の一般圃場でのバカ苗も少なく、今後も病害虫防除と倒伏防止を呼び掛けていきたい。